

令和6年度 上津役小学校のメンタリング（主題研究）

1 目的

教職員の指導力の向上を目的として主題研究に取り組む。働き方改革の促進のため、メンタリングを中心とした研修方法を実践する。

2 行い方

- 今年度、自身がどのような指導力を伸ばしていきたいかを2つ決める。課題選択シートAまたはBから選択する。得意な事柄をさらに伸ばしたり、苦手な事柄の向上を目指したりする。Teamsで入力用シートを配布、5月中に入力をする。メンタリングを行う際は、自身が伸ばしたい事柄を意識して研修に取り組む。
- メンタリングは、基本的に学年で進める。また、若年研修と兼ねて、若年でもメンターチームをつくる。
- 7月までは、授業メンタリングや学級経営についてのメンタリングを行う。若年教員は、7月までに学級経営についてのメンタリングを1回実施する。（学級経営用のメンタリングシートを使用する）
- 8月以降は、全職員がメンタリングシートを利用した年1回以上の授業メンタリング、及び学級経営メンタリングを行う。
- 若年（1～3年次）、ミドル（4～10年次）の授業メンタリングは、国語または算数で実施する。ベテラン（11年次以降）については、どの教科等で実施してもよい。
- ベテランのメンタリング授業は、校長・教頭がメンターとして参観する。
- 低・中・高の3グループ（わかば・かりん学級担任は、いずれかのグループに所属。教務と相談する。）から、それぞれ1名がB研を行う。（初任者はB研を担当しない）B研を行う先生は、メンタリングシートではなく「授業構想シート」を使う。参観者は、それぞれのグループの先生方。（1年担任のB研なら1・2年の先生方が参観。若年教員は他学年の先生の参観も可）B研については、放課後に協議会を実施する。
- 1～6年次の若年教員は、若年研修と兼ねて互いの授業を参観できる。（導入など場面を決めての参観や、後で記録用の動画を見ることも可。3～6年担任は専科の授業を入れてもらうことも検討する。）
- 原則、指導案の作成はしない。ただし、次のものを用意する。
  - ・メンタリングシート（B研担当者は授業構想シート）
  - ・教科書のコピー（本時に関わるページ）
  - ・指導書（赤刷りは不可）のコピー（単元の目標・学習計画が分かるページと、本時に関わるページ）
  - ・板書計画（手書き、PCでの作成、実際に黒板にかいたものの写真、いずれも可）
- ※ いつ（第3希望まで伺います）、どの教科の、どの単元で実践に取り組むかの調査用紙を配布します。5月中に、教務まで提出をお願いします。学年内で、教科が異なっても構いません。

若年 (1～3年次)	
ミドル (4～10年次)	
ベテラン (11年～)	

### 3 今後の予定

提案授業・・・6月19日（水） 5校時 指導者： 外国語科で実施  
 主題研修に関わる全職員で参観。児童下校後に協議会を行う。

#### 【参考資料】

## 課題選択シート A（授業前後用）

※ 達成判断 4：約9割以上 3：約8割 2：約7割 1：5割未満

授業における実践的指導力の内容項目		チェック	子どもの様子からの判断
授業前・ 教材研究	単元計画 ①子どもの興味や関心を大事にした単元構成を工夫することができる。 ②子どもの思考の流れを大切に単元構成ができる。 ③学んだことを活用するよさ、発展、習熟まで構成した単元構成をすることができる。 ④他教科・領域との関連を図ったカリキュラム・マネジメントができる。	①	
		②	
		③	
		④	
授業前・ 教材研究	目標設定 ⑤本時の目指す子ども像を明確にし、目標を具体的に設定できる。 ⑥学習指導要領の内容を押さえて、的確な目標を設定できる。 ⑦学習指導要領に示された観点から、目標をかき分けて設定できる。	⑤	
		⑥	
		⑦	
授業前・ 教材研究	教具 ⑧子どもの課題意識を誘発する教具、学習材、資料を開発する。 ⑨教科書に示されたものより、よりねらいの達成に迫る新たな教具、学習材、資料を開発する。	⑧	
		⑨	
授業前・ 教材研究	活動 ⑩子どもの課題意識を誘発する活動を設定できる。 ⑪子どもの思考を深め、問題解決に迫る活動の設定ができる。	⑩	
		⑪	
授業後・ 評価	評価 ⑫新しい単元に入る前に、関係する学習内容の理解や技能について実態を把握して、学級全体や個の実態分析ができる。 ⑬内容について、客観的な資料を作成し、授業目標の達成度を考察・評価できる。	⑫	
		⑬	

## 課題選択シート B (授業展開)

※ 達成判断 4 : 約9割以上 3 : 約8割 2 : 約7割 1 : 5割未満

授業における実践的指導力の内容項目		チェック	子どもの様子からの判断	
導入 段階	①子どもの学習意欲や追究意欲が高まる導入を工夫することができる。(動機付け)	①		
	②子どもたちが、学習の見通しをもち、子ども自身でめあてをつくるなど、子どもが主体的に学ぶ授業が展開できる。	②		
展開 段階	③〇〇科の基本的な授業づくりと授業の展開ができる。 (他教科と比べると授業づくりに自信がないので指導してほしい。)	③		
	④～に重点をおいたメンティーの課題、〇〇科や領域で示範授業を行う。	④		
	⑤各教科がねらう思考力、判断力、表現力を高める授業が展開できる。	⑤		
	⑥子どもが自己追究する活動時間を保障した授業が展開できる。	⑥		
	⑦子どもの思考を活性化する活動構成を工夫し、授業が展開できる。	⑦		
	⑧主体的・対話的で深い学びの授業が展開できる。	⑧		
	⑨ペア、グループ交流を効果的に生かした授業が展開できる。	⑨		
	⑩書く力、ノートをまとめる力を高める授業が展開できる。	⑩		
	⑪指示を的確に、発問を精選し、教師が話しすぎない授業ができる。	⑪		
	⑫子どもの考えや学習の内容を、まとめ線や矢印で関係付けたりしながら、構造的な板書ができる。	⑫		
	⑬子どもの発言を受容し、評価の言葉で褒めたり、驚いたりし、モチベーションを高める授業ができる。	⑬		
	⑭1時間の授業に山場のある授業が展開できる。	⑭		
	終末 段階	⑮授業を効果的にまとめたり深めたりする、終末段階の工夫ができる。		⑮
		⑯自らの見方・考え方の高まりを自覚できる振り返り活動を行うことができる。		⑯
		/		

## 上津役小 メンタリングシート（授業実践）

年 組 授業者（                      ） 参観者（                      ）	
メンター（                      ） メンティー（                      ）	
授業実践日・場所	月 日（      ） 校時 於（      ）
教科「单元・主題・題材名」・本時	
本時特に高めたい項目	
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択し、具体化・焦点化する。
①	
②	
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
参観者から	

課題選択シートから選んで書きます。

授業後、メンターの先生と話し合っ  
て書き込みます。

ここまでにメンターの先生と話し合っ  
て書き込みます



授業づくりのポイント ～「まとめ」から授業を設計しよう～

**授業構想シート** ( 学校 年 ) 【単元名】「 \_\_\_\_\_ 」 ( 時間 / 全 時間 )

■本単元のねらい

<本時のねらい> ※ めざす子どもの姿  
○  
【まとめ】 ※ <ねらい>を子どもの言葉で

【めあて】 ※ まとめとの整合性 子どもの言葉で

【めあて】を生み出す働きかけ

【追究する活動や働きかけ】主体的・対話的で深い学び  
○  
○  
○

【発問・手だて】  
【支援を要する子どもへの発問・手だて】  
【発問・手だて】

【振り返り】

板書計画